

国立大の入学定員は、 前年比 40 人減の 9 万 7 千人！

18 年度、富山大（富山大 + 富山医薬大 + 高岡短大）
筑波技術大（筑波技術短大改組）の国立 2 大学新設

旺文社 教育情報センター

平成 16 年 9 月

このほど、文部科学省より「平成 17 年度の国立大学等の入学定員増減計画」（予定）が発表された。18 歳人口の減少や大学院重点化の影響などで、17 年度の国立大学（短大含む）の入学定員は 9 万 6,775 人（前年度より 40 人 <0.04%> 減）と、7 年度以来 11 年連続で減少するが、国立大学院の入学定員は過去最高の 5 万 4,889 人（同 1,248 人 <2.3%> 増）に達する。17 年度は、福島大の人文社会・理工学群への改組、山口大・琉球大の観光関係学科（国立大としては初）の新設、筑波大・信州大・静岡大の法科大学院の新設などが計画されている。また、18 年度には、大学の統合、短大の改組による 2 大学の新設も予定されている。

17 年度の定員増減 & 新增設

【国立大学】

今回の計画によれば、17 年度の国立大（短大含む）の入学定員は、前年度より 40 人（0.04%）減の 9 万 6,775 人で、7 年度以来 11 年連続で減少する。この定員増減の内訳を見ると、学部等の改組による増員 1,185 人、学科新設による増員 110 人、学科改組による増員 15 人、入学定員の改訂による減員 160 人、学部等の改組に伴う募集停止分 1,190 人、差し引き 40 人（0.04%）の微減となる（表 1 参照）。

●平成17年度 国立大学等入学定員増減予定数（単位：人）

<表 1 >

種別	区分	件数	17年度 入学定員	対16年度 増減	増減の分野別内訳								
					人文	社会	理	医・歯	薬・ 保健	工	農水	教育	その他
大学	学部等の改組	1学部 2学群		1,185	530	475				180			
	学科の新設	3学科		110		70		40					
	学科の改組	29学科		15	20					-5			
	入学定員の改訂	19学科		-160	-20	-125	10				-15		-10
	募集停止（廃止）			-1,190			-620						-570
	大学計（短大含む）		96,775	-40	530	-200	10	40		160		-570	-10
大学院	修士課程			720	22	-101	68	35	67	369	1	21	238
	専門職 学位課程			415		285				100			30
	博士課程			113	16	-23	-57	-5	32	-15	64	5	96
	大学院計		54,889	1,248	38	161	11	30	99	454	65	26	364

17年度の各国立大の入学定員は、16年7月末までに『入学者選抜要項』で公表されていたが、文科省の17年度概算要求に伴い、定員を変更する大学・学部（学科等）もある。

定員増減計画（予定）は、17年度の予算成立を待って決定され、詳細は各大学の『追加募集要項』（16年12月末～17年1月上旬配付）等で発表される。

<学部等の改組>

山形大では教育学部から地域教育文化学部、福島大では教育・行政社会・経済の3学部から人文社会・理工の2学群への改組をそれぞれ予定している(表2参照)。とくに福島大の改組は、専門横断的・文理融合的な教育展開を目的としており、注目される。

●学部等の改組

<表2>

大学名	学部等名	学科等名	入学定員 (人)	備 考
山形大	地域教育文化学部	地域教育学科	80	教育学部を募集停止
		文化創造学科	75	
		生活総合学科	85	
福島大	人文社会学群	人間発達文化学類	290(20)	教育・行政社会・経済の 3学部を募集停止
		行政政策学類	230(20)	
		経済経営学類	245(20)	
	理工学群	共生システム理工学類	180	
計(2大学)	1学部・2学群	3学科・4学類	1,185(60)	

注. 入学定員欄の()は夜間主コースの定員で内数。

<学科の新設>

新設学科は表3の通りだが、なかでも、山口大・琉球大での観光系学科の新設は、国立大としては初めての試みである。

●学科の新設

<表3>

大学名	学部名	学科名	入学定員 (人)
広島大	歯学部	口腔保健学科	40
山口大	経済学部	観光政策学科	30
琉球大	法文学部	観光科学科	40
計(3大学)	3学部	3学科	110

<学科の改組>

学科の改組は6大学8学部の29学科で予定されている(表4参照)。このうち、学科の統合は、北大-工学部(12学科 4学科)/茨城大-理学部(3学科 1学科)/神戸大-国際文化学部(2学科 1学科)で実施される。

一方、学科増となるのは、茨城大-工学部(2学科 3学科)/神戸大-発達科学部(3学科 4学科)/奈良女大-生活環境学部(2学科 3学科)/愛媛大-理学部(3学科 5学科)。なお、熊本大-文学部のみは定員増(20人)を伴う学科改組である。

●学科の改組

<表4>

大学名	学部名	現学科		新学科	
		学科名	入学定員 (人)	学科名	入学定員 (人)
北大	工	材料工	40	応用理工系	160
		応用化	70	情報エレクトロニクス	180
		情報工	60	機械知能工	120
		電子工	60	環境社会工	210
		システム工	60		
		応用物理	50		
		原子工	40		
		機械工	80		
		土木工	80		
		建築都市	45		
		環境工	55		
		資源開発工	30		
茨城大	工	物理工	85	生体分子機能工	60
		システム工	105(40)	マテリアル工	35
			知能システム工	90(40)	
	理	数理科	70	理	205
		自然機能科	65		
	地球生命環境科	70			
神戸大	国際文化	コミュニケーション	70	国際文化	140
		地球文化	70		
	発達科	人間発達科	120	人間形成	90
		人間環境科	100	人間行動	50
		人間行動・表現	60	人間表現	40
				人間環境	100
奈良女大	生活環境	生活環境	70	食物栄養	35
		人間環境	70	生活健康・衣環境	40
				人間環境	65
愛媛大	理	数理科	50	数学	50
		物質理	95	物理	50
		生物地球圏科	80	化学	52
				生物	43
				地球科学	30
熊本大	文	人文学科	25	総合人間	55
		地域科	40	コミュニケーション情報	30
計(6大学)	8学部	29学科	1,915(40)	23学科	1,930(40)

注. 入学定員欄の()は、夜間主コースの定員で内数。

<入学定員の改訂および編入学定員増>

静岡大 - 人文(法)は、法科大学院の新設による大幅な定員減(65人)が予定されており、難化が予測されるため、要注意だ(表5参照)。

また、医学・看護系統のニーズが高まる中、これらの系統の学部出身者以外の者に対しても、医学・看護への道を開くため、編入学定員増が目立つ(表6・表7参照)。

医学・看護系で編入学定員増となるのは、3年次が秋田大 - 医(医; +5人、保健; +14人) / 筑波大 - 医学専門学群(看護・医療科; +13人) / 信州大 - 医(保健; +17人) / 名大 - 医(医; +5人) / 九大 - 医(保健; +16人)、2年次が滋賀医大 - 医(医; +5人)である。

●入学定員の改訂

<表5>

大学名	学部名	学科名	定員増減 <対前年>
茨城大	工	電気電子工	20
		機械工	-5
		メディア通信工	-5
		都市システム工	-5
信州大	経済	経済システム法	-10
静岡大	人文	法	-65(-10)
滋賀大	経済	経済	1(1)
		社会システム	-1(-1)
京大	総合人間 理	総合人間 理	-10 10
		経済	-15
山口大	経済	国際経済	-5
		経済法	-5
		商業教員養成	-5
		工	機械工
	電気電子工	-10(-10)	
熊本大	文	歴史	-5
		文	-15
琉球大	法文	総合社会システム	-20(-10)
計(8大学)	10学部	19学科	-160(-40)

注. 定員増減欄の()は、夜間主コースの定員で内数。

●第3年次編入学定員増を行う大学

<表6>

大学名	学部等名	学科等名	定員増減 <対前年>	備考
秋田大	医	医	5	
		保健	14	14年度設置
筑波大	医学専門学群	看護・医療科	13	14年度設置
信州大	医	保健	17	14年度設置
静岡大	人文	法	5(5)	
名大	医	医	5	
九大	医	保健	16	14年度設置
計			75(5)	

注. 定員増減欄の()は、夜間主コースの定員で内数。

●第2年次編入学定員増を行う大学

<表7>

大学名	学部名	学科等名	定員増減 <対前年>
北大	法	法学課程	10
滋賀医大	医	医学科	5
広島大	歯	歯学科	5
計			20

【国立大学院】

国立大学院の入学定員は、修士課程 3万 8,110 人(前年度比 1.9%増) 専門職学位課程 2,502 人(同 19.9%増) 博士課程 1万 4,277 人(同 0.8%増) の計 5万 4,889 人(同 2.3%増) となり、過去最高に達する。この背景には、専門的な高度専門職業人の育成や社会人の再教育に向けた大学院拡充などの動きがある。17年度は、次のような専門職大学院の新設が予定されている<()内は入学定員>。

【法科大学院】筑波大(40人) 信州大(40人) 静岡大(30人)

【ビジネス系大学院】筑波大(30人) 東京農工大(40人) 東京工大(30人) 山口大(15人)

【会計系大学院】北大(20人) 東北大(40人)

【公共政策大学院】北大(30人) 一橋大(55人) など。

18年度の大学新設(統合、改組・転換)

18年度の大学新設(富山大、筑波技術大)も盛り込まれている。富山大は、富山大(旧)・富山医薬大・高岡短大の統合、筑波技術大は筑波技術短大からの改組・転換による新設(17年10月開設)で、両大学とも18年4月から学生受け入れを開始する予定(表8・表9参照)。

●大学の設置

①富山大学 (仮称;富山大<旧>、富山医薬大、高岡短大を統合)

<表8>

学部名	入学定員	備考
人文学部	185(10)	平成17年10月開設。学生受け入れは18年4月から開始。 富山大(旧)・富山医薬大・高岡短大の学生募集は17年度限りとする。
人間発達科学部	170	
経済学部	405(10)	
理学部	230(10)	
医学部	150(15)	
薬学部	105	
工学部	405(30)	
芸術文化学部	115	

注. 入学定員欄の()は、第3年次編入学定員で外数。

②筑波技術大学 (筑波技術短大を改組・転換)

<表9>

学部名	入学定員	備考
産業技術学部	50	平成17年10月開設。学生受け入れは18年4月から開始。 筑波技術短大の学生募集は17年度限りとする。
保健科学部	40	